

部長名	都市整備担当部長
-----	----------

部のミッション

まちづくりの実行部隊として、政策決定をされた各種ハード事業の円滑かつ、確実な事業推進を図り、まちの課題解決や、まちの付加価値を高めることで、八王子市民のQOLを高める。加えて、庁内の関係部署と連携をすることで、これらハード事業の整備効果を最大限発揮することができるよう連携を図っていく。

部のビジョン

政策決定された事業の確実な遂行はもちろんのこと、庁内の多くのソフト事業とも密接に関係していることから、それぞれの担当課が責任を持って連携し、事業の完遂することで、拠点整備部が求められている役割を果たしていく。

重要度が高い事務事業					
番号	施策番号	細施策番号	事業名	重要度が高いとする理由	事業実施課
1	22	2	中野西土地区画整理	魅力ある持続可能なまちづくりを実現していくためには、事業に対する地域住民の意向を充分把握し合意形成を図った上で、方向性を示す必要があるため。	区画整理課
2	26	1	高尾駅北口駅前広場及び南北自由通路等の整備	安全で円滑な交通環境の構築には、鉄道による地域分断を解消し住民の利便性を高め、また、駅前広場を拡張し交通結節点機能を強化する必要があるため。	都市整備課
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

施策番号	22	細施策番号	2	細施策名	地域拠点の形成	事業名	中野西土地区画整理	
目標設定にあたって重視した点				既存事業の再構築や事業手法の見直し				
1	【目的】			【目標（2030年のあるべき姿）】			【目標（年度末のあるべき姿）】	
	<p>・進捗率の低い中野西土地区画整理事業については、事業再評価の結果を踏まえ、地域への説明及び報告を行いながら、今後のまちづくり方針を定める。</p> <p>・計画的な事業推進を図るとともに、事業再評価の結果を踏まえ、人口減少等の社会情勢の変化による財政制約を考慮し、土地区画整理事業について事業効果、実施スケジュール及び資金計画等引き続き必要な検証を実施する。</p>			<p>・中野西については、地区住民と将来像と共有し、まちづくり方針に基づいた良好な市街地の形成を進められた。</p> <p>・中野中央及び宇津木の土地区画整理事業については、事業再評価を踏まえ、事業効果、実施スケジュール及び財政状況を総合的に検証し、人口減少社会に対応した持続可能な事業運営が図られてた。</p>			<p>・中野西の土地区画整理事業については、上位計画との整合性を踏まえつつ、地域住民の意向を確認しながら、有識者懇談会からの意見を参考とし、まちづくり方針（案）の策定を進めている。</p> <p>・中野中央及び宇津木については、計画的な事業推進に向け、実施スケジュール及び資金計画等の検証を進めている。</p>	
	【現状】			【課題】			【事業内容】	
<p>・「八王子市経営計画（前期計画）」策定時点では掲載されていない事業である。</p> <p>・区画整理事業の長期化を踏まえ、人口減少社会の進展に伴う将来的な税収減を考慮し、今後の区画整理事業の進め方についての検討を開始する。</p>			<p>事業の長期化により建築制限が継続することで、建替えや土地の高度利用が制約され、地域の活力低下やまちの停滞を招いている。</p> <p>・地域住民と事業の現状や課題を共有し、現状の土地区画整理事業に対する意向を十分把握した上で、地区住民と十分に合意形成を図ったうえで、新たなまちづくり方針の策定する必要がある。</p>			<p>・事業再評価の結果を踏まえ、上位計画との整合性を考慮しつつ、地域住民の意向を確認しながら、まちづくり方針（案）の策定を進める。</p> <p>・中野中央地区及び宇津木地区については、実現可能性のある整備計画の検討を行うとともに、財政制約を考慮し、再検証を行う。</p>		
施策番号	26	細施策番号	1	細施策名	交通結節点の整備	事業名	高尾駅北口駅前広場及び南北自由通路等の整備	
目標設定にあたって重視した点				市民生活・地域経済の回復、発展				
2	【目的】			【目標（2030年のあるべき姿）】			【目標（年度末のあるべき姿）】	
	<p>東京の西の玄関口である高尾駅周辺地域の安全性・利便性を高めるため、観光拠点及び交通結節点として重要な高尾駅及び駅周辺を整備する。</p>			<p>自由通路・新駅舎が供用開始され、仮駅舎等の解体に着手できている状態。</p>			<p>駅前広場は地盤高の調整等工事の設計が完了し、工事が発注可能な状態となりタクシー乗り場等が仮設の場所に移転している状態。</p> <p>自由通路はJR東日本と施行協定が結ばれ着工している状態。</p>	
	【現状】			【課題】			【事業内容】	
<p>暫定整備により北口駅前広場が大きく改良され、歩車分離等が進んだことにより利用者の安全性、利便性が向上した。南北自由通路は、令和8年3月に都市計画変更手続きが完了し、令和8年6月に都市計画事業認可を受け、10月にJR東日本と施行協定を締結する予定。</p>			<p>・用地買収に向けての民有地の権利者交渉とともに、代替地を希望された場合の対応等。</p> <p>・駅の南北自由通路について変更協定を結び再スタートはしたが、事業費が高額であり、クラウドファンディング等を活用して、市負担額を減額させることが必要。またJR高尾駅の現駅舎の利活用についても調整が必要となる。</p>			<p>高尾駅周辺での鉄道による地域分断を解消し、人の往来、利便性等を高めるための南北自由通路を整備する。また、北口駅前広場を拡張し、交通結節点機能を強化する。</p>		